

☆「終活」あれこれ2～ACP(アドバンス・ケア・プランニング)の愛称は「人生会議」です！～

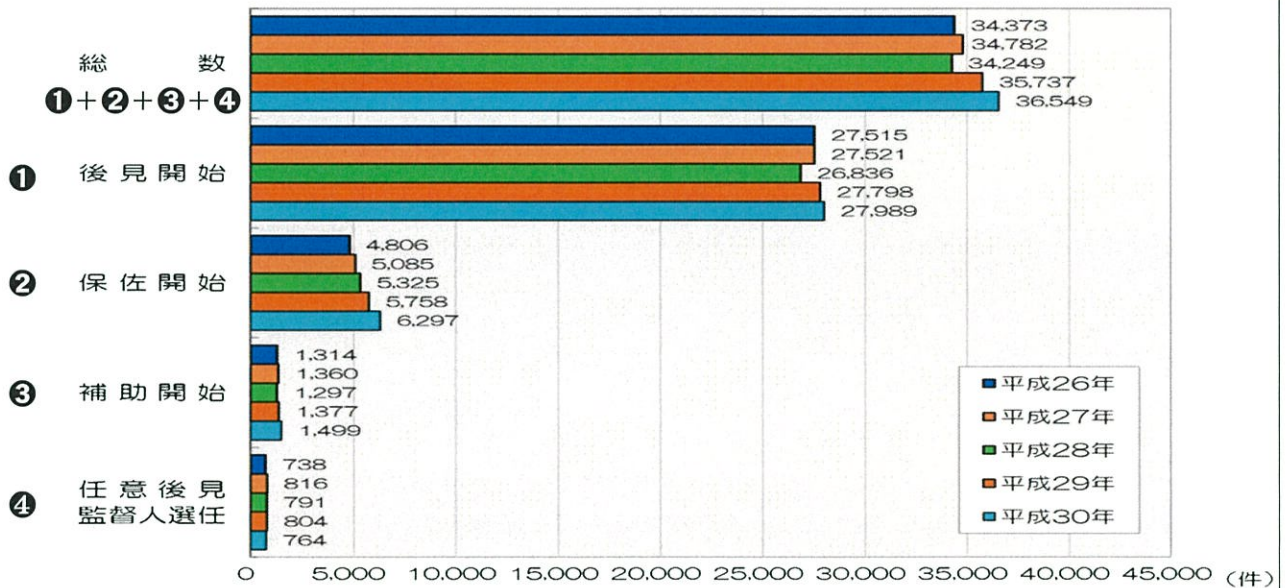
河内長野市では、超高齢社会において、市民と接する機会の多い専門職がまず、市民に先立ち「終活」を理解することが重要との観点から、今般独自の(イ)「多職種のためのしゅうかつ(終活)ガイダンス」と(ロ)「元気なしゅうかつ(終活)マイ・ノート」(河内長野市版エンディングノート)を刊行しましたが、今般民法改正等に伴うマイナーチェンジをした修正版を現在配布中です。本書では、ACPや成年後見制度(法定後見・任意後見)等の必要性を謳い、かつ元気な内からの文書作成(エンディングノート、遺言書、任意後見契約書等)の有用性を強調しています。なお、(ロ)はカスタマイズ用のコピー版(ホッチキス止めをしていないもの)の提供も可能。(イ)(ロ)の修正版・コピー版を希望の場合は地域連携室迄ご連絡下さい。

☆成年後見制度(法定後見・任意後見)3

成年後見制度には、法定後見(認知症等で判断能力が衰えた時)と任意後見(元気な時)の2つがあります。任意後見には、①見守り(定期的な連絡、訪問、面談＝安否確認等)、②生前事務委任、③任意後見、④死後事務委任(②③④は代理権目録等に基づく)の各種契約があります。

下表は、最高裁判所事務総局家庭局が発表した平成30年分の「成年後見関係事件の概況」です。

①②③は法定後見の件数、④は任意後見の件数です。①から④までの合計は36,549件にのぼります。



☆河内長野市地域ケア会議・各委員会等の開催(状況)・開催予定

◆全体会議:2月21日(木)開催(於・河内長野市医師会館) 土生裕史議長(はぶ医院)の司会進行

4委員会の活動状況や課題、若年性認知症支援、河内長野警察署からの徘徊者情報★の報告、河内長野市医師会からは「終活」に関するアナウンス等があり、次回の「いきいきフェスタ」は、9月29日(日)に開催との連絡がありました。場所は、河内長野市立市民交流センター<キックス>となります。

★平成30年行方不明者63件、うち認知症16件(当日発見7件、2～7日8件、3～6ヶ月1件。発見場所は市内6件、市外9件、府外1件)。

◆いきいきフェスタ検討委員会:3月12日(火)開催(於・河内長野市医師会地域連携室会議室)

前回「いきいきフェスタ」の開催報告がありました。各団体のパネル展示等があり、参加はスタッフを含



めて 124 名でした。各団体から、次回「いきいきフェスタ」の開催プラン等の説明がありました。河内長野市医師会は、「在宅サロン“ミニ”」等を開催する予定です。次回は5月 21 日(火)開催予定です。

◆**ブルーカードシステム推進委員会**:3月 27 日(水)開催(於・河内長野市医師会館)

本システムの運用・取組み状況(アンケート調査の実施、発行事例集の刊行等)の報告、クラウドシステム導入を含めた今後の計画案の説明、意見交換などがありました。次回は来年3月の開催予定です。

◆**認知症施策検討委員会**(兼認知症初期集中支援チーム検討委員会):5月 29 日(水)開催予定です。

おれんじチームのチーム員会議は4月 22 日(月)に開催され、石倉、横内両先生(認知症サポート医)の出席がありました。なお、大阪府内認知症サポート医名簿は、現在大阪府等のホームページ上で公開されています。**地域づくり検討委員会**の開催は未定です。

■**認知症地域連携連絡会**:3月 18 日(月)開催(於・河内長野市役所)

認知症地域支援推進員の活動報告等がありました。

◇**認知症パートナー定例会**:3月 14 日(木)開催(於・河内長野市役所) **市民啓発に向けて**

河内長野市医師会から、製本版「多職種のためのしゅうかつ(終活)ガイダンス」と「元気なしゅうかつ(終活)マイ・ノート」を配布し、元気な「終活」のススメや成年後見制度の説明がありました。その後、活動報告や確認等がありました。

☆**まちのれんけい室シンポジウム**:3月 23 日(土)開催(於・ノバティホール) <以下、( )は主張・PR内容>

顔の見える化を進めるべく、石倉保彦先生<石倉医院院長>の基調講演があり、特に「多職種連携の理解を進めるためには、サービス担当者会議により多くの医師が参加すべき」等の見解が披露されました。

次に、①河内長野市歯科医師会(医科歯科連携推進事業紹介)、②デイホーム寺ヶ池(業務案内)、③河内長野市医師会(ブルーカードシステム紹介)、④岩崎総合法務事務所(業務案内)、⑤河内長野市認知症地域支援推進員(ほんわかくらぶ紹介)、⑥キタバ薬局(業務案内)、⑦かなえるリハビリ訪問看護ステーション河内長野(看護小規模多機能型居宅介護紹介)、⑧河内長野市薬剤師会(入退院情報共有推進事業紹介)、⑨三光天薬局(在宅医療での薬剤師の関わり紹介)、⑩河内長野市医師会訪問看護ステーション(求人募集)、⑪マイライフ河内長野(有料老人ホーム紹介)、⑫田中行政書士事務所(業務案内)、⑬あかしあ薬局(在宅医療での薬剤師の関わり紹介)、⑭医療法人錦秀会(グループ紹介)、⑮滝谷病院(業務案内)、⑯水野クリニック(ミズクリ運動教室紹介)、⑰ふくしげ歯科(業務案内)、⑱さざんかりハビリ訪問看護ステーション(業務案内)、⑲府薬会営南河内薬局(無菌調剤室案内)、⑳藤本病院(業務案内)、㉑さくらの杜千代田・さくらリハビリ訪問看護ステーション(業務案内)の順で、夫々主張・PRのプレゼンテーションがあり、盛況のうちに終了しました。

☆地域連携室緊急「**10 連休に関するアンケート調査**」(3月7日～3月 12 日実施)

○趣旨:今般“10 連休”の対応・対策について、緊急アンケートを実施しました。

○対象:河内長野市内(ブルーカードシステム参画病院含む)の医療介護福祉の事業所(医療機関)等 278 ヶ所

○調査内容:Q1:“10 連休”の対応・対策に関して、何か工夫をしようとしている点がありますか?

Q2:“10 連休”に関して、何かご意見等がありますか?

○結果概要:①**業務日**については、概ね4月 30 日と5月2日は休まない(開ける)という所が多くありました。

②**事前の利用者への連絡、便宜に供する対応**については、告知表の事前貼り出し(掲示)、業務予定日や緊急連絡先の連絡(配布)を行うという所、また、利用者の希望を聞いてサービスを提供する、前もって



(日数多めの)薬剤処方をするという所がありました。③急変時の対応については、ブルーカードシステムの円滑な稼働が願われている回答がありました。一方、10 連休については、概ね「個人的には連休はうれしいが、専門職の立場からすれば、課題も多い」という意見に集約されました。特に、「困る」点として、①緊急時対応・連携の不安、②連休後の診察(業務)の大変さ(多忙、混乱)、③転退院業務(相談)の停滞などが挙げられました。また、参考的な意見としては、「皆が一斉に休むというより、各自の有給休暇の完全な取得が望ましい」があり、(国施策として)有給休暇が取りやすい環境づくりの構築が急務であることを印象付けました。更には、連休対策や災害時対応も含めて、今後“多職種連携”は益々重要となっており、ICTの導入・活用がその有効手段の一つであることが改めて浮かび上がってきました。

☆**外務省海外旅行登録「たびレジ」**(海外安全情報無料配信サービス) スリランカ事件に鑑み

外務省が、最新の海外安全情報を、日本語で受信できるサービスを始めました。旅行先の安全情報や旅行中の最新情報の提供、注意喚起、現地事件・事故への支援などが主なサービス内容です。

☆**河内長野市「れんけいカフェ」**(於・河内長野市医師会地域連携室会議室)

<開所状況等> (偶数月の第4水曜日の定期開催・予約不要・費用無料)

①第16回は2月27日(水)に開催されました。認知症問題やインフルエンザ対策等のディスカッションの他、厚生労働省や法務省等の資料説明などがありました。第17回は4月24日(水)に開催されました。障害児の「親なきあと」問題やブルーカードシステム等のディスカッションの他、G20大阪サミットの交通規制、厚生労働省、法務省等の資料説明などがありました。

◎第18回は6月26日(水)、第19回は8月28日(水)に夫々開催します(会議は午後2時開始)。お気軽にお越し下さい。何かプレゼンしたいことがありましたら、事前に地域連携室迄ご連絡下さい。

☆**河内長野市「フチれんけいカフェ」**(於・河内長野市医師会地域連携室会議室)

<開催状況等> (略称:フチカフェ。不定期開催・要予約・費用無料)

②第5回シリーズ第2日(回目):2月27日(水)に開催されました(上記カフェ終了後)。テーマは、「病院の地域連携担当の方との懇談 ～訪問看護師編」で、訪問看護サマリーや訪問看護指示書の病院受付(依頼)窓口の確認の他、管理栄養士との連携の必要性、ブルーカードシステムの今後の方向性等が話し合われました。なお、上記①②には、大阪市内の在宅医療・介護連携推進事業(相談支援室)の担当者(大阪市健康局・淀川、此花、東成、阿倍野4区医師会<ブロック代表>)の視察訪問がありました。

③第7回シリーズ:4月3日(水)に開催されました。上記アンケート結果(報告書)を基に、「10 連休の対応・対策 ～そして、今後の連休対策について～」のディスカッション等がありました。その中では、診療所(内科・歯科)、訪問看護ステーションの開所日等の情報提供があり、特に急変時の対応については、各病院担当者から「救急体制の中で、しっかり受けさせて頂く」との心強い発言等がありました。一方で、「する時はする。休む時は休む。休みも大事」、或いは「今後、仕事と休みが旨くとれるワーク・ライフ・バランスが進むことを願っている」との意見等が出されました。

☆**かわちながの各種シート(3種類)** 連携推進に向けて

多職種間のFAX連絡票である「かわちながの連携シート」・「かわちながの連携シート<サービス担当者会議用>」・「かわちながの主治医意見書連絡シート」は、河内長野市医師会ホームページから、ワード版のダウンロードが可能になっています。ぜひ、連携用のツールとして活用して下さい。



☆ **バリアフリー展・慢性期医療展・看護未来展・在宅医療展 2019**(於・インテックス大阪)

「介護・福祉」、「慢性期医療・高齢者医療」、「看護・訪問看護」、「在宅医療」の総合見本市をキャッチフレーズに、4月18日(木)～20日(土)に開催されました。恒例の各種展示の他、色々な講演が行われました。その中で、4月19日(金)では、厚生労働省老健局から、「厚生労働省行政報告 一介護保険における施策動向一」をテーマに、介護人材の確保、介護ロボット開発、介護サービス現場の改善等についての取組み状況が説明されました。資料ご希望の場合は、地域連携室迄ご連絡下さい。

☆ **河内長野市ブルーカードシステム(病状急変時対応システム)** :平成 28 年 11 月1日稼働

本システムは、救急医療の一つですが、事前に患者情報・キーパーソン等を登録し、急変時の受入れの連携(登録)病院を予め確保しておくものです。

「ブルーカード」は、かかりつけ医(登録医)が交付するもので、**医療用パスポート**のようなものです(医療情報提供書や事前指示書<リビングウィル>ではありません)。「ブルーカード」発行の対象はかかりつけの患者さんで、病状急変の可能性が高い河内長野市民の方となります。「ブルーカード」の発行費用は無料です。「ブルーカード」は、青色の封筒に入れて、患者さん宅の冷蔵庫のドアに貼り付けておくことになっています。患者さん宅で、この青色の封筒を見かけた際は、一度声掛け(確認)して下さい。

現在、「登録医」は 41 名(登録医療機関は 35)、先に登録することになる連携病院は6病院(榎本病院、さくら会病院、沢田病院、大阪南医療センター、岡記念病院、寺元記念病院)、協力病院は 11 病院となっています。

なお、市民啓発用のチラシ(A4判)を作成しました。ご希望の場合は、地域連携室迄ご連絡下さい。



◇ **医師のつぶやき 7** : 追矢 秀人 先生 (追矢クリニック・河内長野市木戸 1-6-5)

ブルーカードシステムが始まって、早や2年6ヶ月が経ちます。大阪府内の医師会で3番目に始まり、河内長野市医師会は在宅医療・介護連携推進事業の一つとしてスタートしました。始まった当初は、システムがきちんと稼働するのか、不安要素もありましたが、地域連携室を軸に、病院、診療所、消防署や多職種の連携により、現在システムの醸成に向けて、一步一步進んでいます。既に、発動したケースを参考に、病状が急に悪化した市民にとって喜ばれるシステムの確立を目指し、今年の課題として、システムのクラウド化と広域化を考えています。皆様、引き続きご協力お願いいたします。

☆ **月台後記**(プラットホームこうき) **～たくさんの人が集まれる所を目指して～**

超高齢社会の中、人の行動には、住所地を超えた様々な人たち(家族、友人、専門職等)が、かかわっています(いくことになりま)から、まさにその人を支える多職種連携は重要で、広域化は欠かせません。これは、「令和」になっても変るものではありません。最後に、4月1日の「令和」の号外記事(産経新聞)を入手しました。こちらの1面コピー版(A3判に縮小)をご希望の場合は、地域連携室迄ご連絡下さい。

監修  
発行

☆ 河内長野市地域ケア会議 (事務局：高齢福祉課)

☆ 河内長野市医師会地域連携室(まちのれんけい室) <TEL 0721-54-1700・FAX 0721-54-1567>